



「ヴィタゴラ (VITAGORA) 社」、「国土と食料」の約2週間のテーマ体系のパートナーに
大阪・関西万博 2025 フランス館

フランスの競争力の極 (Pôle de compétitivité) から認定を受けている農産物加工業の職業団体であるヴィタゴラ (VITAGORA) は、光栄にも、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマの下に2025年4月13日から10月13日まで開催される「大阪万博2025のフランス館」のパートナーを務めさせていただくことになりました。



フランス館のプログラム構成の一環として、ヴィタゴラは、約2週間のテーマ体系「国土と料：より持続可能な生産と消費を目指す」に、2025年4月13日から30日までパートナーとして参加します。ヴィタゴラは日本に企業の代表団を派遣しますが、これはディジョン・メトロポールとブルゴーニュ・フランシュコンテの地方圏議会の後援を受けたもので、またブルゴーニュ・フランシュコンテ商工会議所 (la CCI Bourgogne-Franche-Comté)、ブルゴーニュ・フランシュコンテのグルメ製品 (les Produits Gourmands de Bourgogne-Franche-Comté)、ブルゴーニュ・フランシュコンテ地方経済局 (l'AER Bourgogne-Franche-Comté)、ブルゴーニュ・ヴィーニュ・エ・ヴァン公共インターネットコンソーシアム (le GIP Bourgogne Vigne et Vin) といったパートナーの協賛を受けたものです。ヴィタゴラはまた、農業と農産物加工のイノベーションに注力する一日を企画する予定で、そこでのプログラムは、持続可能な食料品の課題についての講演や講習会、またブルゴーニュ・フランシュコンテ地方の美味しい食料製品の試食会で構成されます。

約2週間にわたり連続して、**ヴィタゴラ**が繰り広げるこの主力活動は、ブルゴーニュ・フランシュコンテ地方の農産物加工産業がもたらす環境とエネルギーの転換に関して、ここにしかない食料品、最先端の科学的知識、代表的なプロジェクトを通じて、メンバーの素晴らしさの価値づけをするものになります。B2Bミーティングの同時進行プログラムは、参加企業にとっては、研究開発、共同製造、輸出の分野で国際間パートナーシップを展開することに貢献するでしょう。

ヴィタゴラの社長であるピエール・グェズ (Pierre Guez) のメッセージ。「20年前から、ヴィタゴラは、日本のパートナーと協力することを通じて、日本にフランスの卓越性を広め、また革新的な日仏の主導性を発揮させるように触媒役を努めてまいりました。当社は、このまたとない機会をとらえ、パートナーの皆さまと共に、国際舞台の正面に、持続可能な食料品提供に携わる当社のメンバーの革新的なソリューションを、人と地球のために、刻むことができることを、大変光栄だと思っています。」

COFREX社長兼フランス館総合コミッショナー、ジャック・メール (Jacques Maire) のメッセージ。「フランス館は、ヴィタゴラ社を万国博覧会開催の際に、お迎えできることを嬉しく思います。この約2週間のテーマ体系で、ヴィタゴラ社はフランスの国土の芳醇さに価値を与えたいという当社の希望をよく説明してくださいました。ヴィタゴラ社の持続可能で質の高い食環境に向けてのアプローチは、日本の美食の都、大阪におけるフランス館のプログラムにおいて、ハイライトのひとつとなるでしょう。」

ヴィタゴラ (VITAGORA) について :

ブルゴーニュ・フランシュコンテとイルドフランス両地方から、フランスの競争力の極 (Pôle de compétitivité) の認定を受けている農産物加工業の職業団体として、ヴィタゴラ社は、フランス国内および全世界の農産物加工業界の670以上のステイクホルダー、つまり、企業 (大企業・グループ、中小企業、スタートアップ)、研究機関、高等教育機関、農業生産当事者、消費者を統合しています。20年前から、ヴィタゴラ社は、健康的で持続可能な、味の良い食料品の提供に向けての、野心的な開発とイノベーションのプロジェクトを実現させるために、エコシステムにおける触媒としての役割を効果的に担っています。こうした食料品は、産業と地域のための価値の源泉であり、消費者にとって幸福の源泉です。

<https://www.vitagora.com/>

フランス国際博覧会公社 (COFREX) について

2018年1月に設立された公営企業フランス国際博覧会公社 (COFREX SAS) は、万国博覧会および国際博覧会へのフランスの参加の準備、組織化、実施に特化した初の常設組織である。その持続可能なアプローチは、これまでの万博の経験を生かし、最小のコストと最小のインパクトで最適な組織を確保する。フランスのイメージと魅力に焦点を当て、官民のパートナーシップに基づいている。

<https://www.cofrex.fr/>

2025年大阪・関西万博フランス館について

2025年4月13日から10月13日まで開催される大阪・関西万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、3つのサブテーマ「いのちを救う」「いのちに力を与える」「いのちをつなぐ」で構成されます。会場となる夢洲は大阪湾に浮かぶ155ヘクタールの人工島で、総合建築は建築家の藤本壮介氏が担当します。すべてのパビリオンは、直径615m、周囲2kmの「リング」で結ばれ、3つのマクロゾーンである緑の世界、パビリオンの世界、水の世界に分けられます。161カ国以上が参加し、2800万人の来場者が見込まれています。フランスのイノベーションとノウハウを紹介することを目的とするフランス館は、日本館と万博メインエントランスに近い「Empowering lives (いのちに力を与える)」ゾーンに位置します。

<https://www.franceosaka2025.fr/>

報道関係者お問合せ先：ヴィタゴラ（VITAGORA）

シンディ・トラン（Cindy Tran）：cindy.tran@vitagora.com

プレスお問合せ先：COFREX

ルドヴィク・ギヨ（Ludovic Guillot）：

ludovic.guillot@cofrex.fr

クロエ・ヴィラノヴァ（Chloé Villanova）：

chloe.villanova@cofrex.fr

マリー・セイエ（Marie Ceillier）：

marie.ceillier@bursonglobal.com